

番号	テーマ(演題)	概要	講師	時代等
1	古代・中世の食事の話 ～グルメな古代・中世の人々～	広大な中世の畠跡が見つかった長瀬高浜遺跡など、食糧生産跡が見つかったいる鳥取県。それらの発掘調査成果をふまえ、意外にグルメな古代・中世の人々の食事について解説します。	中山	概説
2	「倭人の食卓」に学ぶ	国史跡青谷上寺地遺跡や妻木晩田遺跡から出土した弥生時代の食材関連資料をもとに「倭人の食卓」を想像し、食の意味、重要性、そして将来を考えます。	濱田	概説
3	考古学の基礎の基礎	鳥取県の事例を取り上げながら、旧石器時代から古墳時代の大きな歴史の流れ、生活の変化についてできるだけ分かり易く解説します。	門脇	概説
4	土の中からの音色	遺跡から出土した楽器について紹介し、昔の人々がどのように音を楽しんでいた考えてみましょう。子ども向けに琴のレプリカをつくる活動もできます。	門脇	概説
5	ひとと動物の考古学	狩りの対象として、道具の素材として、家畜やペットとして、信仰の対象として、などなど人と動物との歴史について、実物のホネや毛皮を用いながら分かり易く紹介します。	門脇	概説
6	犬の考古学	「人間の最良の友」といわれる犬は、「最古の家畜」でもあります。この犬と人との長く深い関わりについて、遺跡から出土した犬骨の研究成果を通じて解説します。	門脇	概説
7	魚の考古学	魚類と日本人の長い関わりについて、山陰地方の事例を中心に紹介します。子ども向けの動物考古学体験「おさかな考古学」も行うことができます。	門脇	概説
8	毛皮と皮革の考古学	歴史の中で重要な役割を果たした毛皮と皮革について、関連する考古資料や文献史料、皮なめしの実験成果等を通して、その実態を探ります。	門脇	概説
9	牛馬の考古学	牛馬は長きにわたって人の生活を支えてきただけでなく、信仰の世界にも多く登場する動物です。近年増加してきた県内での出土事例を中心に古代の牛馬のあり方に迫ります。	門脇	概説
10	郷土の歴史発見	みなさんがお住まいの地域の歴史をわかりやすく解説します。	企画 研究 担当	概説
11	地域に残る知られざる歴史	うちの近くには歴史的なものなど何にもないと思っておられる方が多いのでは？いえいえ、そんなことはありません。昔があつてこそ今がある。地域に残るさまざまな歴史について紹介します。	中森	概説
12	お墓の話	古代から現代まで、人を葬る行為は繰り返されてきました。その繰り返しの中で、お墓の形やその上に立てるもの(石造物や卒塔婆)が変わり、地域的な特色も出てきます。地域的な姿から西日本のようすまで、さまざまなテーマについてお話します。	中森	概説
13	史跡の楽しみ方や可能性を探る	史跡とは何か？鳥取県内にある主要な史跡を素材としながら、文化遺産としての史跡の価値を再考し、その楽しみ方や可能性を探ります。 *詳細についてはリクエストにもお応えします。	濱田	概説
14	湖山池と遺跡変遷	気候変動による湖山池の景観変化と湖山池周辺の遺跡の変遷を、遺跡でみつけた遺構や出土品からみた生活様式の変化とともにご紹介いたします。	田中	概説
15	県内出土の古代繊維について	青谷上寺地遺跡出土の繊維をはじめとした、県内出土古代繊維の概要について紹介します。	原田	概説
16	石器の作り方	旧石器時代から弥生時代までの石器作りの変化を、鳥取県で確認されているものを中心に、実演しながら解説します。	高橋	旧石器
17	山陰の旧石器時代	旧石器時代の山陰地方の様子について、県内や周辺地域の資料を基にお話します。日本列島の旧石器時代の概説についてもお話します。	北	旧石器
18	石器から考える生活と交流	旧石器時代～弥生時代を中心に、鳥取県内各地からは様々な種類の石器が出土しています。人々の生活や交流と結びつけながら、石器の面白さをお話します。	水村	旧石器
19	山陰の縄文時代の暮らし	湖山池周辺や大山山麓での近年の発掘調査資料などを中心に、山陰の縄文時代の様子についてお話します。	北	縄文
20	鳥取県の縄文土器	縄文土器は煮炊きなどの生活用具であるとともに、多彩な文様と器形から原始美術として語られることも多いものです。鳥取県内出土の縄文土器を見ることで、その機能や装飾の移り変わりなどをご紹介します。	酒井	縄文
21	鳥取県東部における農耕社会のはじまりについて	縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての大きな変化について不明な点が多かった鳥取県東部。しかし、近年の発掘調査において良好な資料が発見され、明らかになりつつあります。こうした最新の資料を用いて説明します。	下江	縄文 弥生
22	いにしへの木材利用と自然環境	鳥取県は、縄文時代から古代にかけて多種多様な木器が数多く出土している事で有名です。最近の研究成果から、こうした木器の製作と自然環境は、相互に影響を与えあっている事が明らかとなっており、それは、現代に生きる我々と自然との関係にも通じています。	下江	縄文～ 古代
23	小さな小さな穴から探る「弥生時代のはじまり」	土器の表面に残る小さな穴から、昔の人々が栽培していた植物の種を探し出し、山陰地方における弥生時代のはじまりにアプローチ。種実圧痕の調査方法も紹介します。	濱田	縄文～ 古代

24	弥生時代の色	青谷上寺地遺跡では、東アジア最古となる緑色の顔料が塗られた盾が確認されました。出来る限り当時の素材や方法を駆使し、宮大工さんと奮闘しながら制作に取り組んだ「緑土の盾復元プロジェクト」の舞台裏やこぼれ話も交え、当時の色彩について語ります。	水村	縄文～ 古代
25	弥生時代の玉作からみた交流の姿	近年鳥取県内では、東部エリアを中心に多くの玉作遺跡が発見されています。それらの遺跡はどのような関係にあるのか？最新の成果と「交流」をキーワードに、当時の日本海沿岸地域の動きを探ります。	水村	縄文～ 古代
26	遺跡から出土する種実	低湿地遺跡からは多くの種実(トチやクルミ)が出土しますが、これまであまり注目されていませんでした。大柵遺跡から出土した2,000点以上の種実は、一体だれが食べたものなのか？実際にクルミを割った実験を通して、遺跡に残された種実の正体を探ります。	水村	縄文～ 古代
27	弥生時代のアンバー(琥珀)ロード	青谷上寺地遺跡から出土した琥珀の塊は、一体どこから運び込まれたものなのか？最新の理化学分析とこれまで判明している交易関係から、琥珀のふるさとと交流の姿を探ります。	水村	縄文～ 古代
28	弥生時代の家について	弥生時代には様々な形の家がありましたが、終わり頃には隅の丸い四角い形に統一されていきます。こうした形の変化と建物の上屋構造の変化の関係について、焼けた竪穴住居を素材として紹介します。	馬路	縄文～ 古代
29	鳥取いにしえの木の文化～出土木製品が語る人々の暮らし～	鳥取西道路の建設に伴って行われた発掘調査では、女子群像の板絵をはじめとする大量の優れた木製品が出土しました。縄文時代から中世まで、多種多様な木製品の用途や特徴、製作技術などを紹介しながら、いにしえの世から現代まで続く鳥取の木の文化について解説します。	家塚	縄文～ 中世
30	砂に埋もれた大集落～長瀬高浜遺跡の紹介～	弥生時代から中世までの幅広い時代の遺構が見つまっている県中部の長瀬高浜遺跡について調査結果をもとにして紹介します。	中山	弥生
31	「弥生の王国」鳥取のすがた	「弥生の王国」鳥取での発掘調査の様子や、そこから見える人々の生活の姿、妻木晩田遺跡でのムラの復元について語ります。	岡野	弥生
32	日本海を望む「倭の国邑」妻木晩田遺跡	「倭人は帯方の東南大海の中にあり、山島によりて国邑(こくゆう=大きな村)をなす」。「魏志倭人伝」冒頭の一節を彷彿とさせる弥生時代の大規模集落「妻木晩田遺跡」の盛衰と時代背景にせまります。	濱田	弥生
33	青谷上寺地遺跡－弥生の港湾集落－	海を舞台とした交易拠点、青谷上寺地遺跡。その豊富な出土品から、弥生時代の人・モノ・心に迫ります。	湯村	弥生
34	青谷上寺地遺跡にみる弥生人の願いと祈り	弥生の人々の願いや祈りについて、ト骨や祭祀遺物など、青谷上寺地遺跡の出土品や調査成果から考察します。	北浦	弥生
35	弥生の至宝 青谷上寺地遺跡の重要文化財	重要文化財に指定された青谷上寺地遺跡の出土品の特徴や指定の意義について解説します。	北浦	弥生
36	探訪！青谷上寺地遺跡	弥生時代に日本海沿岸地域におけるものづくりと交易の重要拠点であった青谷上寺地遺跡の姿を、出土品や調査成果から探り、紹介します。	北浦	弥生
37	鉄器からみた弥生時代の山陰	全国的に見ても屈指の出土量を誇る鳥取県そして山陰地域の弥生時代鉄器。そこからみた山陰地域の弥生時代社会について「日本海沿岸地域との交流」をキーワードに紹介します。	高尾	弥生
38	青谷上寺地遺跡を知る	玉作りや青銅製品を通じて、青谷上寺地遺跡の魅力をお伝えします。	大川	弥生
39	貝輪を作る	青谷上寺地遺跡からはベンケイガイ製の貝輪が出土しています。打ち上げ貝として採集できるベンケイガイなどによる、貝輪づくり体験講座を行います。	東方	弥生
40	淀江潟と東郷湖周辺の弥生時代から古墳時代の集落	鳥取県にはたくさんの潟湖が存在したことがわかっていますが、その中から淀江潟と東郷湖周辺の弥生時代から古墳時代の遺跡を取り上げて、集落の様子や社会のあり方について、両地域を比較しながら紹介します。	馬路	弥生～ 古墳
41	東郷湖周辺の歴史と環境	かつて潟湖であった東郷湖の周辺は、弥生時代以降、大規模なムラや大型古墳、中世には荘園、近世には鳥取藩の藩倉が置かれるなど、歴史的に地域勢力の拠点となる重要な地域でした。時代ごとにその姿をたどりながら、いにしえの鳥取の姿を考えます。	岡野	弥生～ 近世
42	鳥取の埴輪	古墳に立て並べられた埴輪。鳥取県には、「因幡型円筒埴輪」、「伯耆型壺形埴輪」など、特色のある埴輪が分布します。埴輪から見た地域の特色について、時代あるいは地域ごとのテーマで紹介いたします。	東方	古墳
43	山陰最古の前方後円墳～本高14号墳～	鳥取西道路の建設に伴い調査された鳥取市本高14号墳は、山陰最古級の前方後円墳として話題になりました。この古墳が築造された背景を、周辺の遺跡とともに考えます。	東方	古墳

44	鳥取の古墳あれこれ	鳥取県は、これまでに13,500基を超える古墳が確認された、「古墳王国」です。鳥取の古墳について解説します。	東方	古墳
45	「海の古墳」を考える	鳥取県の海岸部には、海のすぐ近くに築造された古墳が見られます。こうした、「海の古墳」について、築造背景や被葬者像について考えます。	東方	古墳
46	会下・郡家遺跡の古代	平安時代の大きな建物跡や、限られた場所でしか出土しない緑釉陶器が見つかった会下・郡家遺跡のようすについて、分かりやすく解説します。	田中	古代
47	青谷平野からみた古代山陰道のすがた	青谷横木遺跡や青谷上寺地遺跡では古代山陰道と考えられる大規模な道路遺構が発見され、当時における最高水準の土木技術が駆使されていたことが判明しています。最新の調査成果から古代山陰道の実像に迫るとともに律令国家の地方支配について考えます。	坂本	古代
48	『女子群像』板絵と青谷横木遺跡	国宝高松塚古墳壁画に次ぐ国内2例目の発見となった『女子群像』板絵。青谷横木遺跡の調査成果とともに『女子群像』板絵が出土した背景や謎に迫ります。	坂本	古代
49	たたら製鉄の源流を探る！	最新の調査成果を基に鳥取県内の古代・中世における鉄生産について解説し、中国山地で独自の発展を遂げ、日本古来の製鉄技術であるたたら製鉄の源流に迫ります。	坂本	古代
50	因幡・伯耆の役所と古代寺院	鳥取県内の古代における役所や寺院について解説し、古代社会の実像に迫ります。	坂本	古代
51	鳥取平野の人形・馬形	大柵遺跡をはじめとして、県内で近年多量にみついている人形・馬形などの木製祭祀具について、発掘調査成果からみる変遷と出土状況から考えられるその使用方法を解説します。	大野	古代
52	飛鳥から平安時代の集落遺跡の様相 -倉吉市天神野台地上の遺跡を中心に-	倉吉市の小鴨道祖神遺跡を中心に、飛鳥から平安時代の人々のくらしの様子を解説します。	森本	古代
53	古代から中世にかけての土製炊飯具	鳥取県の東部から出土した土器を中心に、煮炊きに使用した道具の移り変わりについて紹介します。	玉木	古代～中世
54	鳥取県出土の泥塔について	泥塔は、経塚というお経を埋納した遺構に納められた宝塔などを模した約5～7cm程度の土製品です。鳥取県内では、琴浦町(旧赤碓町)竹内で出土した扁平で宝塔を模したものがみついています。経塚の歴史と、鳥取での経塚や泥塔のあり方から見てくる、当時の人々の仏教信仰の一端をご紹介します。	酒井	古代～中世
55	古代から近世の交通について	人類は、馬や車、船や飛行機といった乗り物や道路や港といった施設をつくって陸地や海や河川、さらに大空を移動して、その活動範囲を広げてきました。それは当時の政治や軍事、経済といったものと深く結びついています。その歩みについて、県内の遺跡を中心に紹介します。	下江	古代～近世
56	検地帳から中世の景観を復元する	日南町の笠木地区には江戸時代初めの検地帳が完全な形で伝えられています。その解説から復元できた中世笠木郷の景観と、現地に今も遺る面影を紹介します。	高橋	中世
57	山陰地方の石造物について	道や田畑の脇、墓地の一角などいたるところにある五輪塔や宝篋印塔。それらをよく見てみると、実は形や大きさ、使われている石などいろいろ違うことがわかります。それはつくられた時期や地域による違いであり、山陰におけるそうした様相を紹介します。	中森	中世
58	中世陶磁器を考古学的にみってみると	とくく陶磁器というと、博物館に飾られている「美術品」、あるいは「骨董品」を想像される方が多いのではないのでしょうか？ところが発掘調査をしていると、そうしたお宝の割れた破片が結構出てくるのです。何故そのような陶磁器が出るのか？誰が使っていたものなのかなど、その価値だけでなく、そこにある意味などを考古学的に鑑定します。	中森	中世
59	鳥取県のお城の魅力	地域のシンボルともいえるお城。その魅力に迫るとともに、天神山城・鳥取城・米子城など発掘調査された事例を中心に、城の構造や瓦・陶磁器といった出土遺物などについて紹介します。	中森	中世
60	基礎から分かる県内中世城館 ～お城へGO！～	県内には約500のお城跡があります。しかし、その多くは身近にありながら、知られていません。そんなお城についての基礎的な内容、中世の合戦について解説します。	中山	中世
61	因幡・伯耆の古城探訪	鳥取県内には500余りの中世城館があります。県内のどの地域にどんな城があるのかをご紹介します。山城の見どころや、面白さを一緒に学びましょう！	大川	中世
62	山ノ下遺跡の大型建物	県内でも類例のない11世紀後半の大型建物の構造について解説します。	森本	中世
63	宇倍神社経塚の金字経	鳥取市国府町宇倍神社経塚から出土した国内でも希な金字経について、その性格と位置づけについて解説します。	東方	中世

64	戦国の知将 亀井茲矩	戦国時代末期～江戸時代初頭にかけて因幡国西半を治めた亀井茲矩は、新田開発や治水、朱印船貿易、鉱山開発など様々な事業を行った戦国大名として知られています。これらの事業の痕跡は今も残っており、それらを紹介しながら、亀井茲矩の実像に迫ります。	下江	中世～江戸
65	文化財をまもる	東日本大震災や熊本大地震は、テレビなどでみてその惨状を知ってはいけませんが、鳥取に住む我々にはどこかピンとこないものだったのではないのでしょうか？それが、平成28年10月21日の鳥取県中部地震を体験し、人ごととしてはいけないことも実感したはず。大きな震災などが起きた場合、当然人命やライフラインの確保が優先されるだけに、貴重な文化財の保護対策については、日頃から意識しておく必要があります。 文化財をまもるための日常管理や被災後の対策など、鳥取県中部地震の経験を踏まえ、お話しいたします。	中森	その他の文化財
66	和紙のはなし	ペーパーレスといわれる昨今。とはいえ、やはり紙は我々普段の生活において身近な存在であり、また一昨年には和紙がユネスコの世界無形文化遺産に登録されたことで、改めてその生産技術が注目されています。 日本において紙が生産され始めたのは飛鳥時代のこととされますが、その後遅くとも奈良時代の後半には鳥取(当時は因幡・伯耆の2国)でも紙が漉かれ、奈良県・正倉院には今もその時の記録が残っているほどです。 伝統的な紙漉き技術が全国的に減少していく中、県内では鳥取市青谷町と佐治町の2箇所が続けられており、鳥取県指定無形文化財になっています。こうした和紙の歴史や技術などについてお話しします。	中森	その他の文化財
67	鳥取の民具	鳥取県内の民具を通じて特徴ある生活文化を紹介します。また民具資料の整理や活用を体験学習の形式で実施します。	樫村	その他の文化財
68	溪流の王者「オオサンショウウオ」について	溪流の中の百獣の王とよばれるオオサンショウウオ。山奥の池に人知れず生息していると思われがちですが、実は私たちの身近な河川で生活しています。謎の多いオオサンショウウオの知られざる実態や生活環境について紹介します。	中山	その他の文化財
69	未来をつくる「ふるさと教育」～学校での地域の歴史学習紹介～	当県が教育の柱の一つとしている「ふるさと教育」の概要と学校での地域の歴史学習について紹介します。	中山	その他の文化財

## 埋蔵文化財センター体験テーマ一覧

70	檜扇(扇子)をつくろう！	青谷横木遺跡でみつかった檜扇をもとに、オリジナルの檜扇を作ってみませんか？	企画研究担当	ワークショップ
71	火起こしワークショップ	古代の火起こし方法について解説を行います。そのあとは、実際に火起こし体験をしてみましょう。	企画研究担当	ワークショップ
72	チョコレートで鑄造体験！	古代から続く鑄造技術や歴史を学びながら、オリジナルのチョコレートを作ってみましょう！	企画研究担当	ワークショップ
73	自分だけの勾玉づくり	「滑石」を削って削って、勾玉を作ります。磨けば磨くほどツルツルになります。自分だけの勾玉をつくりませんか？	企画研究担当	ワークショップ
74	古代の組みひもづくり	色とりどりの紐を組んで、組みひもをつくります。	企画研究担当	ワークショップ
75	弥生のペーパークラフト	ペーパークラフトで弥生の道具を作ってみませんか？青谷上寺地遺跡で出土した花びらのような装飾を持つ高杯(たかづき)をはじめ、数種類の作品を作ることができます。	企画研究担当	ワークショップ